

表紙の作画 刈谷 仁美 氏

高知県出身。やわらかく透明感のある作風に定評があるアニメーター、イラストレーターです。鮮やかに描き出す風景とその中に生活する人物の生き生きとした表情で、可愛らしく和やかな世界観を作り上げます。

本白書のテーマである「未来につながる安全保障」を表現するため、技術などが発展した先にある未来感のある街並みと、その未来に生きる若者たちの笑顔を表現しています。

- 防衛白書は、1970年に初めて刊行し、1976年以降毎年刊行して参りました。防衛白書刊行の目的は、できる限り多くの皆様に、できる限り平易な形で、わが国防衛の現状とその課題およびその取組について周知を図ることです。
- 本書は、2025年4月から2026年3月までの1年間のわが国を取り巻く安全保障環境や防衛省・自衛隊の取組を記述しています。ただし、一部の重要な事象については、2026年4月以降のものも記述しています。
- 本書内に掲載している地図は、デザイン、レイアウトに応じて省略などを施している簡易なものであり、必ずしもわが国の領土のすべてを含んでいない場合や正確な縮尺などを反映していない場合があります。
- 防衛白書刊行後も最新の情報へのアクセスが容易となるよう、防衛省ホームページの関連ページなどへのリンクとして二次元コードを充実させています（2026年5月現在のURLに基づいて作成）。また、本書をはじめ、防衛白書のバックナンバーも防衛省ホームページで閲覧できますので、ぜひご活用ください。

令和8年版 防衛白書

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/index.html>



防衛白書バックナンバー

http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_web/



凡 例

本書の文中において、次の用語について、それぞれ略称を用いたほか、適宜ほかの用語についても略称を用いているところがあります。（一部説明の都合上、正式名称としている場合があります。）

1. 防衛事務次官 → 事務次官	6. 陸上自衛隊 → 陸 自	11. 海上幕僚監部 → 海 幕
2. 統合幕僚長 → 統 幕 長	7. 海上自衛隊 → 海 自	12. 航空幕僚監部 → 空 幕
3. 陸上幕僚長 → 陸 幕 長	8. 航空自衛隊 → 空 自	13. 日本国とアメリカ合衆国との 間の相互協力及び安全保障条約 → 日 米 安 保 条 約
4. 海上幕僚長 → 海 幕 長	9. 統合幕僚監部 → 統 幕	14. 国際連合 → 国 連
5. 航空幕僚長 → 空 幕 長	10. 陸上幕僚監部 → 陸 幕	15. 国連安全保障理事会 → 国連安保理